

2 短針の長さが1, 長針の長さが2の時計がある. 短針を \vec{a} , 長針を \vec{b} とするとき, 点 $(|\vec{a} + \vec{b}|, \vec{a} \cdot \vec{b})$ の動く範囲を求め, それを図示せよ. ただし $|\vec{a} + \vec{b}|$ はベクトル $\vec{a} + \vec{b}$ の大きさ, $\vec{a} \cdot \vec{b}$ はベクトル \vec{a} と \vec{b} の内積を表す.